

日本 200 名山の一つである御座山に登った。天気予報は最悪の大雨であった。こんな時にはツアー山旅というやつは不便である。よっぽどのことがない限り中止はない。

今回も、男 5 名・女 17 名のうちに知った顔がいくつかある。男のうちの一人は、“どこかで会いましたねえ”と言っているうちに彼のほうが思い出した。“去年の四国の東赤石岳で会いましたね”と言ってきた。こんな時に私の方から思い出すことはほとんどない。先天的痴呆症であるから致し方ない。女性の方ではやはり同じ四国で会った I ナバさんがいる。彼女はこの日泊まる“閑静荘”がお気に入りらしくて、もう 10 回以上来ている



らしい。“閑静荘”は料理が美味しいということで有名である。ご主人と奥さんが二人だけで切り盛りしているが、二人共に優しくて良い人であることも人気の元になっているのであろう。毎日新聞旅行の移動手段はバスを使うことが普通であるが、この日は電車で蕪崎まで行って、“閑静荘”のご主人が初日に登る横尾山の登山口まで送迎してくれた。翌日の御座山も同じであった。この山に限って以前からこのやり方であるらしい。‘12 年の北陸道高速ツアーバスの事故以来、ツアーバス運行の規則が厳しくなって、毎日新聞旅行も新幹線利用などが多くなっているが、今回の場合はこれとは関係ないようである。

御座山は、不動の滝方面から北上して、長者の森方面へ抜ける予定であったが、雨が強くなることを想定して不動の滝からの頂上ピストンに変更した。リーダーの梶原さんや 10 回も登っているという I ナバさんも言っていたが、御座山に至る前にこんなに雪があるなんて初めてということであった。青氷化した雪道には持参した軽アイゼンが役に立った。幸いにも雨の方は小雨で済んだが、頂上へは雪のためにピストンが精一杯であり、雪がより多くなる向こう側へ抜けきることは無理であったろう。